



contents

- オープンホスピタル2025 開催報告
- 総合診療科ってどんなところ？
- KRHニュース FMラジオ
- 備えあれば憂いなし
非常食 ローリングストックのすすめ
- 第13回糖尿病フェスタ 2025
- New Option
新しいオプションをご紹介します
- 診療表



オープンホスピタル 2025 開催報告

2025年8月9日（土）、倉敷中央病院リバーサイドでは、昨年度に続き第2回目となる「オープンホスピタル2025」を開催しました。

当日は地域の小中学生とそのご家族を中心に、673名の方々にご来場いただき、昨年度を大きく上回る参加者数となりました。病院内には、子どもたちやご家族、そして職員の笑顔が広がり、温かく活気ある雰囲気になりました。

今回のイベントでは、28のブースが設けられ、各部署の有志スタッフ約100名が参加しました。医師・看護師・薬剤師などの職種体験をはじめ、病院のお仕事体験や楽しいゲームコーナーなど、趣向を凝らした催しが多数展開されました。参加者の皆様には、医療の現場を身近に感じていただき、医療従事者の仕事への理解と興味を深めていただく貴重な機会となりました。

また、当日は倉敷中央病院院長も来場され、各ブースを回られながら地域の皆様との交流を深められました。

私たちはこれからも、「暮らしに寄り添うあなたの病院」として、地域の皆様とのつながりを大切に、医療を通じた地域貢献に邁進してまいります。ご来場いただいた皆様、そして準備・運営にご協力いただいたすべての方々へ心より感謝申し上げます。

君もドクター・ナースになってみよう！



医師・看護師のユニフォームを着て写真を撮りました☆

きみも未来のドクターだ!!～KRHからの脱出～



エコーを使って見つけました

顕微鏡やエコーをのぞいてみよう



からだのなかではたらく細胞を顕微鏡で見ました！

こども薬剤師体験



お菓子を薬に見立ててお薬の調剤からお渡しまで薬剤師のお仕事を体験しました

ラジエーションハウス



MRIの磁力を体験してみました

おかしとり おかしをゲットしよう！



つりざおを使っておかしをゲットしました！

Let's 千本引き & 握力測定



足の指の力、測ってみました！

触ってみよう AED



AEDの使い方と心肺蘇生法(胸骨圧迫)を楽しく学びました

リハビリ体験



ゲームを通して、不自由さを乗り越える工夫を体験しました

メモリアル乳歯ケースを作ろう！



抜けた乳歯を模型にして、思い出に残しました

病院食体験



病院食で夏バテ予防！元気メニューを学びました

総合診療科

ってどんなところ？



あんざい よしあき
総合診療科 安西 芳輝 医師

夏に放送されていたドラマ「19番目のカルテ」で取り上げられている「総合診療科」。これまであまり耳にすることのなかった診療科の名前を、初めて知ったという方も多いのではないのでしょうか。実は総合診療科は、地域の医療にとって欠かすことのできない存在なのです。

総合診療科の大きな特徴は、「まず相談できる診療科」であることです。頭が痛い、咳が長引く、体がだるい、検査では原因がよく分からない、病気がいくつも重なっている…そんな時に「どこの科に行けばいいのかわからない」と迷ったことはありませんか？総合診療科は、そんなときの“最初の窓口”です。

ただし、私たちが見ているのは症状だけではありません。年齢や体質、これまでの病気の経過、生活習慣、家族や仕事などの環境、そして気持ちの持ち方——こうした一つひとつが体の不調とつながっていることも多いのです。そこで総合診療科は、病気の部分だけに注目するのではなく、その人の生活や心の状態も含めて「人全体を診る」ことを大切にしています。

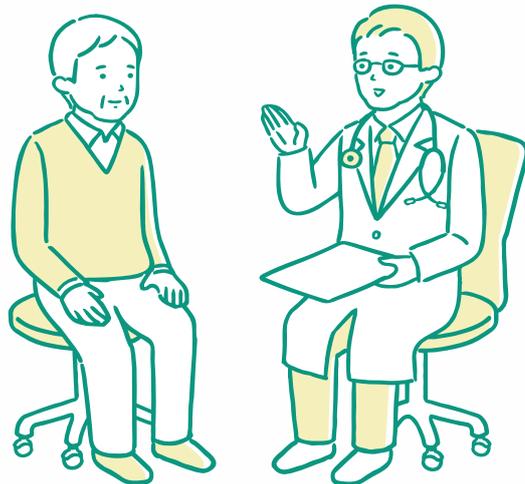
さらに、総合診療科には“つなぐ役割”もあります。診察の中で専門的な治療が必要と判断すれば、それぞれの専門科につなげますし、介護や地域の支援が必要な場合には福祉と連携することもあります。いわば、医療と生活を結ぶ「案内役」としての働きです。

そして総合診療科は、一時的な病気の対応だけでなく、急な体調不良から入院、退院後のリハビリ、外来での経過観察、ご自宅での診療、さらには人生の最終段階まで、途切れることなく関わり続けることを大切にしています。長く寄り添い、患者さんとご家族の生活を支えることも、総合診療科の大事な役割です。

地域に暮らす人々にとって、総合診療科は“町のお医者さん”に近い存在です。「とりあえず相談してみよう」と思える身近さを持ちながら、病気や健康のことを幅広く受け止めます。実際、町のお医者さんの多くは内科や小児科などの専門を持つ先生方ですが、「どんなことでも相談したらなんとかしてくれる」という安心感は、専門医として学んだ知識というより、長年地域で診療を重ねる中で自然に身につけられた力によるところが大きいのです。総合診療科は、その「人を丸ごと診る力」を経験だけに頼るのではなく、体系的に学び、専門性として確立してきた診療科です。だからこそ、病気や体調のことを気軽に相談できる“町医者のような身近さ”と、“幅広く専門的に学んだ安心感”の両方を持ち合わせています。

総合診療科は、診療科の中で最も新しく加わった“19番目の診療科”です。新しいだけに世間一般の認知度はまだ高くありませんし、時には医療者の間でも十分に理解されていない部分があります。しかし、だからこそ地域や病院の中で不足している部分を補い、患者さんの困りごとを解決していく柔軟さを持っています。

病気や体調のことで「どこに行ったらいいかわからない」と迷った時、あるいは「まず誰かに相談したい」と思った時、ぜひ総合診療科を思い出してください。みなさんの健康と生活を長く支える存在として、私たちは地域に根ざした診療を続けてまいります。



KRH NEWS

Back Number

FM RADIO REPORT

FMくらしき【82.8MHZ】 夕方ワイドくらもん

『暮らしに寄り添うあなたの病院

倉敷中央病院リバーサイド』



毎月第 2 木曜日 18:00 - 18:15 パーソナリティ 杉本 香子

『暮らしに寄り添うあなたの病院』について様々な職種の視点からお伝えします!

No.4
2025.07.10
ON AIR

言語
聴覚士
橋本
直紀

管理
栄養士
内堀
奈穂

About
『栄養サポート
チームの取り組み』



医師
安西
芳輝

医師
窪
征宣

医療
ソーシャルワーカー

No.5
2025.08.14
ON AIR

About
『総合診療専門医
プログラム』

大島
義弘



薬剤師

看護師

No.6
2025.09.11
ON AIR

渡邊
佳也

菅野
真輔

About
『感染対策チーム
の取り組み』



備えあれば憂いなし

～～非常食 ローリングストックのすすめ～～



いざという時のために「食の備え」は大切です。非常食は特別なものとしてしまい込まず、期限内に使い、使った分を買い足すことで常に一定量の備蓄を維持することができます。これをローリングストックと言います。無理なく続けることができ、賞味期限切れを防ぐこともできます。当院ではアルファ化米やレトルト食品、缶詰などを常備しており、ローリングストックをしています。今回は当院で実際に提供している備蓄食品を活用したメニューについてご紹介します。普段の食事を使ってみることで、味や調理方法の確認もでき、いざという時に役立ちます。ぜひご家庭でもお試しください。



《アルファ化米》



水やお湯で戻すところをダシやスープを使うとリゾットやピラフのような味わいに！



みつば、さやえんどうで香りをプラス！



サフランでひと工夫 おしゃれなサフランライスに！



わかめご飯はしらすを入れてうま味UP！



《缶詰》



普段のおかずにもおすすめ！



この秋は、食欲の秋とともに「防災の秋」。ポイントは日常の延長線で備えを習慣化することです。ご家庭でも、食の備えを見直してみませんか？美味しく食べながら、上手に備えていきましょう。

第13回

糖尿病フェスタ 2025

【日時】 令和7年 11月14日(金)
9:30~(下記日程参照)

【場所】 倉敷中央病院リバーサイド内

参加費無料!
※糖尿病食体験は
別途料金必要

参加者には
おみやげあるよ😊

内容	時間	場所
測定/展示/相談コーナー (申し込み不要・無料)	9:30~11:45 受付11:30まで	正面玄関 1Fふれあいコーナー
糖尿病医師による講演 (申し込み不要・無料)	11:15~11:45	講義室
糖尿病食体験会 (申し込み要・有料※)	受付11:45~	第二会議室 (旧外来食堂)

測定・展示・相談コーナーなど

- 身長・体重・体脂肪・筋肉量測定 ●クイズコーナー
- 災害対策・運動・薬・フットチェック・糖尿病食の展示
- 健康・美容度チェック ●運動相談・体験 ●血糖値測定
- ★口腔内チェック ★骨密度測定

★印は整理券が必要です。受付時に配付します。

糖尿病食は健康食!!

「糖尿病食体験会」

先着15名

※当日食事代500円を頂きます。

<お申込みはこちらから>



New Option

新しいオプションを
ご紹介いたします



足指握力検査

料金
1,430円
(税込)

検査内容

- ①【足指力計】で足指握力を測定
- ②運動指導士による運動アドバイス

なぜ足指握力が大事ななの?

- ☆バランス力UPで転倒予防
- ☆歩く・走る力の基礎をつくる
- ☆姿勢が安定し、膝・腰の負担軽減



こんな症状がある方におススメ

- ・姿勢がわるくなった
- ・つまづきやすい
- ・歩幅が狭い、歩くのが遅くなった

いつまでも
元気に
歩こう♪

足指から健康を
つかみましよう



フレイル検査セット

料金
4,000円
(税込)

検査内容

- ①認知症リスク検査…長谷川式簡易知能評価
- ②足指力検査…機械の上に足をのせて、足指力の測定を行います
- ③握力…握力計を握り、筋力を測ります
- ④In Body…機械に乗り、筋肉量や体脂肪率などを測ります
- ⑤運動指導…健康運動指導士がおお客様の身体に合った運動をご案内します

フレイルとは

「加齢とともに心身の活力が低下し
介護が必要になりやすい状態」のこと

こんな症状がある方におススメ

- ☑最近何をやっても楽しくないと感じる
- ☑物忘れが多く、認知症が気になっている
- ☑身体を動かすのが億劫になってきた
- ☑急に体重が減ってきている
- ☑歩くのが遅くなったり、筋力が落ちたと感じる

現状を把握し
早めに対策
することが
できます

フレイル検査をして寝たきり予防をしましょう



外来診療のご案内

科	受付時間	月	火	水	木	金
内科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)	○	○	○※I	○	○
	午後 13:30～16:00	○	○	○	○	○
総合診療科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)	○	○	○	○	○
	午後 13:30～16:00	○	○	○※II	○	○
循環器内科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)	○	○	○	○	○
	午後 13:30～16:00	○	○	○	○	○
神経内科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)●完全予約制	●				●
	午後 ●完全予約制		●	●		
外呼吸器外科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)●予約制				○	●
	午後 14:00～16:00		○		○	○
緩和支援療法科	午後 13:30～16:00 ●完全予約制		●			
脳神経外科・脳卒中科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)		○			
	午後 13:30～15:00		○			
泌尿器科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)	○	○		○※III	
	午後 14:00～16:30				○	
整形外科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)●予約制	●	●	●		●
	午後 8:30～10:30 午前 16:00～18:30 (スポーツ外来) ●予約制	○※IV	○※IV	○※IV		○※IV
小児科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)●予約制	●	●	●※V	●	●
	午後 13:30～16:00 ●予約制	(第2,第4)	●		●※VI	●
	午後 13:30～16:00	(第1,第3,第5)	○※VII		○	○※VII
眼科	午前 8:30～11:30(当日受付と水曜日の予約は11:00まで) (診療開始 9:00～)●予約制	●※XI		●	●	●
リハビリテーション科	午後 14:00～16:00		○			
放射線科	午後 14:00～16:00		○			○
耳鼻咽喉科	午後 13:30～16:00		○			○
歯科	午前 8:30～11:30 (診療開始 9:00～)●予約制	●	●	●	●	●
	午後 13:30～16:30 (診療開始 13:30～)●予約制	●	●	●	●	●

※I…内科(無呼吸専門の医師):予約制 10:00～16:00 診療
 ※II…総合診療科:診察時間 13:30～15:00(水曜日のみ)
 ※III…泌尿器科:第1,第3,第4,第5のみ診療(当日受付 11時まで)
 ※IV…整形外科:当日受付の人数に上限があるため、お断りする場合あり
 ※V…小児科:診察時間 8:30～11:00(水曜日のみ)
 ※VI…小児科(内分泌・第1,第3):完全予約制
 ※VII…小児科:診察時間 15:00～16:00
 ※VIII…小児科:診察時間 15:00～16:00(第1,第2,第4,第5のみ診療)
 ※IX…眼科:完全予約制 手術前後診察
 ※歯科:診察希望時には、事前連絡要
 ※小児科:発達障害で受診希望の場合は事前予約要
 2025年6月2日改定

交通アクセス



交通機関をご利用される方へ

JR「新倉敷駅」より、タクシーで約15分。
 JR「倉敷駅」より、タクシーで約25分。

自家用車をご利用される方へ

山陽自動車道「玉島IC」より、約20分。

高梁川より西側の方

1. 霞橋を目標にこられる場合

霞橋を渡って水島方面へ左折、鶴の浦西側(高梁川堤防の下)の道を南下してください。

2. 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合

水玉ブリッジライン水島大橋を出てすぐの信号を右折して側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。*水玉ブリッジラインが無料になりました。

高梁川より東側の方

1. 霞橋を目標にこられる場合

429号線(旧2号)を橋の手前で水島方面へ左折、鶴の浦西側(高梁川堤防の下)の道を南下してください。

2. 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合

水玉ブリッジライン水島大橋手前の直前の信号で左側側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。

患者さんの権利と患者さんへのお願い

患者さんの権利

当院では、患者さんの相互理解により医療が行われるよう、患者さんの権利を尊重します。

1. ひとりの人間として、その人格・価値観は尊重されます。
2. 医療を平等に受けることができます。
3. 説明と十分な理解による同意をもとに、適切な医療を選ぶことができます。
4. 当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受けることができます。
5. 医療の過程で得られた個人情報には厳守され、患者さんの承諾なしには開示いたしません。

患者さんへのお願い

私たちが良質で安全かつ効率的な医療を提供するために次のことをお願いします。

1. ご自身の健康に関する正しい情報の提供
 2. ご自身の医療への積極的な参加
 3. ご自身の治療に必要な診療上のルールのご遵守
 4. 他の患者さんの診療に支障をきたさないためのご協力
- 患者さんが、私たちが力を合せ、治療に専念され、少しでも早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
 倉敷中央病院リバーサイド

〒712-8007 岡山県倉敷市鶴の浦2丁目6番11号
 TEL: 086-448-1111 FAX: 086-448-1251
 発行者: 中島 尊 編集責任者: 十河 浩史



倉敷中央病院リバーサイドのホームページはコチラ
<https://www.kchnet.or.jp/krh/>
 是非、アクセスして役に立つ情報をGetして下さい。